

地 理 探 究

地理探究

〔I〕 下の文章は地球システムと水循環について述べたものである。文章を読んで各問いに答えよ。

地球は「(ア)」とも呼ばれるように、表面の約 (A) %が海洋で覆われており、これが地球環境において非常に大きな役割を果たしている。地球上の水は、大気・海洋・陸地・生物圏などが相互に作用する (イ) の中で絶えず循環しており、この動的な移動過程を水循環と呼ぶ。水循環に関わる水の大部分は海洋に存在し、地球全体の水量の約97.5%を占めている。残りの約2.5%が陸水であり、その多くは氷河として極地や高山に蓄えられている。氷河を除いた陸水の中でも、(ウ) は淡水資源として最も重要であり、人類の生活や農業活動において不可欠である。産業革命以降、人類は (エ) を大量に消費するようになり、それに伴って大気中の温室効果ガス濃度が増加した。これにより気候変動が進行し、水循環にも大きな影響を与えている。たとえば、降水量や蒸発量の変化、氷河の融解、(ウ) の涵養量の減少などがその例である。このように、水に関する物質移動やエネルギー循環は、自然環境だけでなく人間社会とも密接に関係しており、地球環境の保全を考える上で中心的なテーマである。

問1 上の文章中の (ア) から (エ) に当てはまる語句を記述せよ。

問2 上の文章中の (A) に当てはまる数字を下記より選択して、解答欄に記述せよ。

50 60 70 80 90

問3 日本の水循環と農業の特徴について、以下のキーワードを用いて説明せよ。

(100字程度)

キーワード：降水量、河川、沖積平野、稲作

問4 気候変動について、以下のキーワードを用いて説明せよ。

(100字程度)

キーワード：二酸化炭素、約15℃、地球温暖化、異常気象

〔Ⅱ〕 東南アジアに関する次の文章（１）～（５）を読んで各問いに答えよ。

- （１）（ ア ）は1967年に発足した地域協力組織で、経済成長や政治的安定を目的としている。
- （２）東南アジアでは（ イ ）が商業や経済で強い影響力を持ち、現地社会との摩擦の一因ともなってきた。
- （３）マレーシアやシンガポールなどでは（ ウ ）であることが国民統合や政策の運営に影響している。
- （４）マレーシアでは、マレー人優遇を掲げる（ エ ）が教育・就職などの分野で実施されている。
- （５）インドネシアの（ オ ）は、ヒンドゥー教を基盤とした独自の宗教・芸能文化が今も色濃く残っている。

問１ 上の文章（ ア ）～（ オ ）に該当する語句を記述せよ。

問２ 文章（１）の体制に関する特徴について、以下のキーワードを用いて説明せよ。

（70字程度）

キーワード：主権、協議、通貨、域外関税

問３ ベトナムで一般的にみられるパンについて、以下より選択して、解答欄に記述せよ。

ライ麦パン プレッツェル フランスパン ナン ロールパン

問４ 東南アジア地域の農業の特徴について、以下のキーワードを用いて説明せよ。

（60字程度）

キーワード：モンスーン、デルタ地帯、傾斜地、棚田

〔Ⅲ〕 北西・南ヨーロッパに関する下の文章を読んで、各問いに答えよ。

北西ヨーロッパの地形は、北部の（ ① ）の古期造山帯、南部の新时期造山帯（ ② ）、そして両者に挟まれた広大なヨーロッパ大平原に大別される。北部では氷河に削られた（ ③ ）が見られ、気候は、暖流の北大西洋海流と（ ④ ）の影響で高緯度ながら温暖である。イギリスなど北西部は夏涼しく冬温暖な西岸海洋性気候で混合農業や（ ⑤ ）が、地中海沿岸は夏に高温乾燥となる地中海性気候で（ ⑥ ）などを育てる地中海式農業が盛んである。宗教はキリスト教が広く信仰されている。南ヨーロッパではカトリックが、^(a)北西ヨーロッパではプロテスタントが多く信仰されている。

経済面は石炭と鉄鋼の共同管理を通じて恒久的な平和を目指し、1952年にヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）を設立した。この経済的な協力関係が発展し、1967年に（ ⑦ ）が成立、さらに1993年発効の（ ⑧ ）によって、外交や安全保障など幅広い分野での協力を目指すヨーロッパ連合（EU）へと発展した。EUは統合をさらに深化させるため、加盟国間の国境検査を原則廃止し、人やモノの自由な移動を保障する（ ⑨ ）を導入した。また、経済統合の象徴として^(b)単一通貨ユーロを導入し、多くの加盟国で利用されている。冷戦後は東欧諸国も加盟し市場は拡大したが、西側企業の生産拠点移転による産業の空洞化や、中東・（ ⑩ ）からの難民問題など新たな課題に直面している。

問１ 上の文中（ ① ）～（ ⑩ ）にあてはまる語句を下記語群より選んで答えよ。

語群

オセアニア 北アメリカ 酪農 リアス式海岸 ヨーロッパ共同体（EC） ヨーロッパ経済共同体（EEC） リスボン条約 貿易風 シェンゲン協定 スカンディナヴィア山脈 季節風（モンスーン） 偏西風 アルプス山脈 ラズベリー 北大西洋条約機構（NATO） カナリア海流 ブルーベリー 大陸氷河 酪農 北アフリカ オリーブ フィヨルド マーストリヒト条約 バリ協定 ウラル山脈 自由貿易協定（FTA）

問2 下線部（a）について、該当しない国を選んで記号で答えよ。

（ア）アイスランド （イ）アイルランド （ウ）ノルウェー （エ）デンマーク

問3 下線部（b）について、現在導入をしていない国を選んで記号で答えよ。

（ア）アイルランド （イ）イギリス （ウ）ルクセンブルク （エ）ギリシャ

〔Ⅳ〕 世界遺産に関する各問いに答えよ。

問1 下記のA～Dで示される世界遺産の名称と、それが所在する都道府県の正しい組み合わせを、それぞれ語群から選び、記号で答えよ。

A：2024年に登録された、日本の鉱山の歴史を示す産業遺産

B：ブナの原生的な森林が広がる自然遺産

C：「白鷺城」の愛称で知られ、近世城郭建築の傑作とされる文化遺産

D：亜熱帯性の植物から冷温帯の植生まで垂直分布が見られる自然遺産

【世界遺産の名称 語群】

（ア）姫路城 （イ）小笠原諸島 （ウ）佐渡島の金山 （エ）白神山地

（オ）屋久島 （カ）琉球王国のグスク及び関連遺産群

（キ）石見銀山遺跡とその文化的景観

【都道府県名 語群】

（ク）東京都 （ケ）鹿児島県 （コ）島根県 （サ）青森県・秋田県 （シ）兵庫県

（ス）沖縄県 （セ）新潟県

問2 世界遺産に関する下記の文章を読んで、（①）と（②）にあてはまる語句を記入せよ。

世界遺産は、1972年のユネスコ総会で採択された世界遺産条約に基づき、人類全体にとって顕著な普遍的価値を持つとして登録される。登録される遺産は、歴史的建造物や遺跡などからなる文化遺産、特徴的な地形や生態系などからなる自然遺産、そしてその両方の価値を兼ね備えた（①）に分類される。世界遺産登録は、その価値を国際社会が認め、将来の世代へ伝えていくことを目的とするが、一方で観光客が急増することにより（②）といった問題も指摘されている。

問3 世界遺産とその所在地に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

（ア）マチュ・ピチュ --- ペルー （イ）白神山地 --- 日本

（ウ）ヴェネツィアとその潟 --- イタリア （エ）ボロブドゥール仏教寺院群 --- タイ

問4 世界遺産登録がもたらす影響や関連する課題についての記述として、正しいものを次のア～オの中から二つ選び、記号で答えよ。

（ア）世界遺産への登録は観光の促進を直接の目的としているため、登録後は必ず観光開発が義務付けられる。

（イ）観光客が特定の遺産に集中するオーバーツーリズムは、交通渋滞やゴミ問題を引き起こし、地域住民の生活環境を脅かすことがある。

（ウ）遺産の保護・修復費用はすべてユネスコからの資金で賄われるため、所在国の財政的負担はない。

（エ）自然遺産では、気候変動による生態系の変化や、観光客が持ち込む外来種による在来種への影響が懸念されている。

（オ）文化遺産を構成する歴史的建造物は、自然災害や紛争による破壊のリスクとは無関係である。